

ソフトアーク低水素系・乾燥省略可能棒 誕生!



●軟鋼～490MPa級高張力鋼用被覆アーク溶接棒

低水素系被覆アーク溶接棒

FAMILIARC™ LB-50FT

2kgのアルミ包装タイプ(乾燥省略可能)と
5kgの紙包装タイプ(乾燥推奨)がございます。

効果と特長

1 開封後の乾燥を省略可能。使い切りやすい2kg包装をご用意しました。

開封後、被覆アーク溶接棒の乾燥をせず、すぐにご使用いただけます。
溶接時の作業性や機械的性質は、乾燥させた被覆アーク溶接棒と変わりません。
※乾燥省略が可能なタイプは、アルミ包装品に限ります。
※開封後8hrを目安にご使用ください。

2 ソフトなアークが持ち味です。

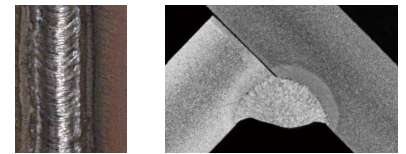
従来の低水素系被覆アーク溶接棒に比べ、アークの感触をソフトにしております。

3 アーク切れが少なく、スラグはく離性も良好です。

ビード外観および断面マクロ



水平すみ肉 (AC160A, 4.0mmφ)

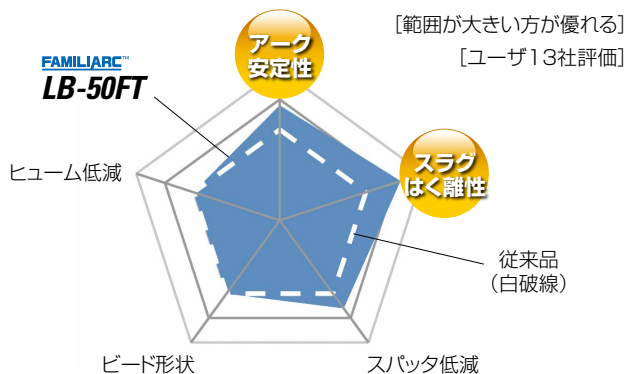


ビード外観

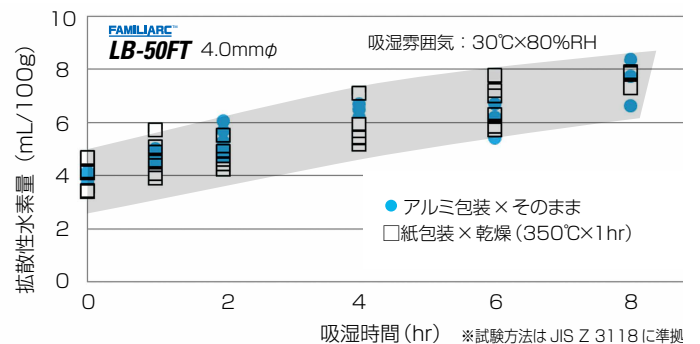
断面マクロ

立向上進 (AC140A, 4.0mmφ)

従来品と比較した溶接作業性(官能評価)



拡散性水素データと耐低温割れ性



8時間吸湿後の窓枠拘束割れ試験(板厚25mm予熱バス間50°C)でも
低温割れは発生しておりません!

乾燥を省略できるメリット(乾燥庫を不要化できた場合の一例)

電気代: 乾燥庫3台の場合 <3台×電力5kw×稼働時間3hr ×年間300日×電気代15円/kwh> = 20万円/年

設備費: 3年に1台リプレースの場合 約20万円/年



被覆アーク溶接棒 2t/年ご使用いただいた場合

電気代+設備費 40万円 ÷ 2t = 被覆アーク溶接棒 1kg当たり「200円もお得!」

用途と適用例

橋梁、建築、圧力容器等の溶接

溶着金属の化学成分と機械的性質の一例(棒径4.0mmφ、AC)

化学成分(mass%)					機械的性質			
C	Si	Mn	P	S	耐力(MPa)	引張強さ(MPa)	伸び(%)	吸収エネルギー(-30℃、J)
0.08	0.63	0.93	0.011	0.002	510	595	25	142

製造寸法と推奨電流範囲 AC、DC(+)

棒径(mmφ)	2.6	3.2	4.0	5.0	6.0	
棒長(mm)	350	350	400	450	550	
電流範囲(A)	下向	55~85	90~130	130~180	180~240	250~310
	立向/上向	50~80	80~115	110~170	150~200	—

※乾燥の省略が可能なアルミ包装は、3.2mmφと4.0mmφのみの製造となります。

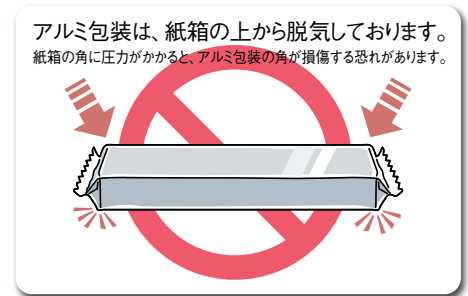
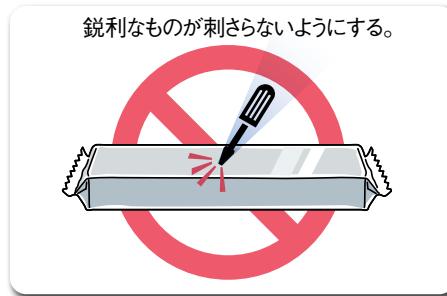
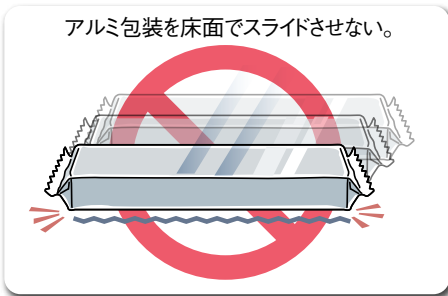
規格

材料規格	
JIS	Z 3211 E4916 U

識別色

棒端色	青白色
二次着色	青白色

ご注意ください アルミ包装は、外気の侵入を防ぐために密封しておりますが、損傷によりその密封性が損なわれる場合があります。



警告

溶接の際発生するヒュームとガスによって、健康を損なうおそれがあります。排気、換気の実施、呼吸用保護具の着用など適切な予防措置をとってください。アーク光は目や皮膚に有害です。適切なシャ光保護具を使用してください。感電によって死に至ることがあります。通電部に触れないでください。

ワイヤの始終端部などトーチ先端以外のワイヤが、溶接中に母材、ワイヤフィードなど非絶縁部に接触するとスパークが発生し、火災、熱傷の原因になるので注意してください。

- お客様へのご注意とお願い
- ①本カタログに記載された溶接材料、溶着金属、溶接金属などの諸特性データは、製品の代表的な特性や性能を説明するためのものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。
 - ②実際の溶接構造物における諸性能については、施工物の設計、鋼板の化学成分、施工方法、溶接条件、施工者の技量などの影響がありますのでご注意ください。
 - ③本カタログ記載の技術情報を誤って使用したことにより生じた損害につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

株式会社 神戸製鋼所

溶接事業部門

マーケティングセンター

マーケティング企画室 TEL 03-5739-6321 FAX 03-5739-6958

国内営業部

造船・エネルギー営業室 TEL 03-5739-6322 FAX 03-5739-6958

東日本営業室

(溶接材料) TEL 03-5739-6323 FAX 03-5739-6958

(溶接システム) TEL 03-5739-6325 FAX 03-5739-6958

北海道営業所 TEL 011-261-9334 FAX 011-251-2533

東北営業所 TEL 022-261-8812 FAX 022-261-0762

中日本営業室 TEL 052-584-6075 FAX 052-584-6109

※本製品(役務を含む)は、外国為替及び外国貿易法に定める輸出規制の対象です。輸出には、日本国政府の輸出許可が必要な場合があります。輸出のご予定がある場合には、弊社営業所へお問い合わせ下さい。その際には輸出先や用途をご確認させていただくことがありますので、ご了承下さい。

The products and services represented in this catalog are governed by the export restrictions of the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Act. A Japanese government issued export permit may be necessary to export outside Japan. If export is intended, kindly consult Kobe Steel, Ltd. Welding Business and/or its sales offices. Please be advised in advance that we reserve the right to confirm the export destination including the nature and/or intended use of our products and services at the said destination.

コベルコ溶接テクノ株式会社

CS推進部CSグループ TEL 0466-20-3000 FAX 0466-20-3010

西日本営業室

(溶接材料) TEL 06-6206-6390 FAX 06-6206-6458

(溶接システム) TEL 06-6206-6423 FAX 06-6206-6458

中国営業所 TEL 082-258-5305 FAX 082-258-5309

四国営業所 TEL 087-823-7444 FAX 087-823-7333

九州営業所 TEL 092-451-6012 FAX 092-473-8238

グローバル推進部 TEL 03-5739-6331~6332 FAX 03-5739-6960